

武田元神戸大学長や倉持元振興局長ら受章 文科省幹部らが祝意、令和7年春の勲章・褒章伝達式

文科省関係の「令和7年春の勲章・褒章伝達式」が5月12日と21日の2回に分けて、東京・千代田区紀尾井町のホテルニューオータニで執り行われた。

(47頁に受章者のコメント掲載)

文科省関係の叙勲受章者は746名で、うち女性76名。元文科審の板東久美子氏や元東京工業大学長の三島良直氏が「瑞宝重光章」を受章し、5月9日に皇居で伝達式が執り行われている。

21日の伝達式では、国歌斉唱に続いて、野中厚文科科学副大臣より、勲章受章者を代表して武田廣氏(元神戸大学長)に勲章が、褒章受章者を代表して青木節子氏(慶應義塾大学名誉教授)に褒章が伝達された。



「瑞中」受章の武田元神戸大学長に勲記を手渡す野中副大臣

野中副大臣はあいさつで「わが国が引き続き成長・発展を持続するためにも、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化芸術の役割は極めて重要であり、皆さまの功績はこれらから発展に大いに貢献する。皆さまの栄誉はこれらからお祝い申し上げるとともに、長年にわたって支えてこられたご家族、関係の方々に対し、深く敬意を表したい」と語った。

今年春の叙勲で瑞宝中綬章を受章した武田氏は「わが国が今後もますます発展するためには、何よりも有意な人材の育成が不可欠。混迷する昨今の世界情勢を考える時、国民一人一人が良識ある心豊かな社会人・国際人として世界平和の実現に努める必要がある。そのためには明るく、豊かな社会を形成し、人々に感動や生きる喜びをもたらす原動力となる、教育、学術、スポーツ、文化芸術の振興・向上は欠かすことができないものだ。本日、栄誉に報いるために、今後も微力ながら社会に尽くしてまいりたい」と感謝と決意を述べた。

受章者らは伝達式後、皇居に向かい、天皇陛下に謁見しお言葉を受けた。



伝達式に臨む副大臣と長官、文科省幹部ら



瑞宝中綬章の武田元神戸大学長④と夫人



紫綬褒章の青木慶応義塾名誉教授④と夫



瑞中の倉持元研究振興局長④と夫人



瑞中の岩淵元岩手大学長④と夫人



瑞双受章の池本龍二元岩手大理事夫妻



瑞小受章の池端伸夫元人事課室長夫妻

瑞中受章の工藤敏夫
元木更津高専校長

瑞中受章の松永是元農工大学長夫妻



瑞中受章の柴田尚志元一関高専校長夫妻



瑞双受章の山本恵一元茨城大理事夫妻



瑞双受章の松川保元香川大理事夫妻

瑞双受章の富澤
邦明元立山所長

瑞双受章の竹身良文元高知大理事夫妻

瑞双受章の関根正夫元
科政局政策課補佐夫妻

褒章受章者代表の青木氏



祝賀曲を奏楽する藝大関係者



旭小受章の戸田奈津子氏

紫綬褒章受章の落
語家・柳亭市馬氏瑞双受章の吉野正巳元
一橋大事務局長夫妻

叙勲受章代表の武田元神戸大学長



晴れの叙勲と褒章の受章に臨む受章者とその配偶者(ホテルニューオータニ東京)

